

1月以降一段と寒さが厳しくなり、普段雪が少ない地域でも局地的な大雪の被害が報告され、ゴルフ場の営業にも大きな影響を及ぼしています。地球温暖化の影響は一括して「異常気象の増加」、気候への影響は「気候の極端化」と表現されることがあります。今年の各地の大雪も温暖化の影響でしょうか。

コース管理に目を向けると、雑草の発生時期がこれまでと変化して防除時期の見極めに苦労されている方も多いのではないのでしょうか。

雑草対策 …… 春の防除時期の見極めは慎重に！

ゴルフ場でみられる主な雑草（弊社調べ）

名称	雑草の写真	説明	名称	雑草の写真	説明
スズメノカタビラ		特徴：踏圧や刈込に強く容易に再生する。フェアウェイやティー、グリーンにも発生する。繁殖：種子。発生時期：主に秋、夏の終わりから翌春まで次々と発生	メリケンカルカヤ		特徴：冬場のラフに高さ50～120cmの茎が立ち綿毛状の種子を飛ばす。北米原産の外来種で全国各地の芝生に見られる。繁殖：種子 発生時期：4～5月 花期：10～11月
メシバ		特徴：暑さや乾燥に強く夏に旺盛に生育する。温暖化によりゴルフ場での発生は増加傾向にある。繁殖：種子。発生時期：4～5月。花期：7～9月	シロツメクサ		特徴：ほふく茎が四方に伸び節々から芽を出す。牧草として輸入し栽培された外来種 繁殖：地下茎と種子 発生時期：3～4月。花期：4～7月
チドメグサ		特徴：茎が地面をはい節々から根と芽を出して広がり、切断しても再生する。繁殖：根茎と種子。発生時期：通年。花期：6～9月	ヒメクグ		地下茎で繁殖し増殖力が強く、ゴルフ場では難防除雑草のひとつ。繁殖：地下茎と種子 発生時期：5～6月。花期：7～9月

温暖化の影響なのか管理の現場からは、近年雑草発生時期が変化したという話を耳にする機会があり、実感しているグリーンキーパーも多いのではないのでしょうか。スズメノカタビラを例にとっても、以前は春と秋に明確な発生ピークが見られましたが、最近では夏の終わり頃から発生し始めて翌春までだらだらと発生する傾向があります。またベントグリーンのメシバ発生は増加傾向です。

今年は冬の局地的な大雪と春先からの低温の影響があり、雑草発生時期の予測が難しくなっています。春から夏の雑草防除計画の見直しが必要です。

参考資料

- ① 雑草の資料画像は弊社企画開発部・情報企画課の調査収集による
- ② 林重人 ゴルフ場の雑草管理における最近の話題—東北地域— 植調 Vol.44, No.9 (2010) 356-361ページ
- ③ 小笠原勝 連載・コースのお邪魔草 ゴルフ場セミナー 2005年7月から2009年12月号(全54回) スズメノカタビラ(2005年7月号)、メシバ(2005年11月号)ほか



東洋グリーン株式会社

TOYO GREEN

〒103-0013
東京都中央区
日本橋人形町2丁目33番8号

<http://www.toyo-green.com>

Email: info@toyo-green.com